


## バイオマス利活用施設の概要[三重県いなべ市 廃食用油]

作成日：平成 20 年 3 月 10 日

作成者：NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

 <p>廃食用油燃料製造装置</p>	<b>【施設名称】</b> 生ごみ減量化促進事業、廃食用油リサイクル事業
	<b>【事業主体】</b> いなべ市
	<b>【所在地】</b> 三重県いなべ市
	<b>【運転開始年】</b> 平成 13 年
原材料および利用量	廃食用油 24,000 リットル/年
生産物（種類）	BDF（バイオディーゼル燃料） 23,000 リットル/年
利用方法	農業公園内で使用する建設重機、トラック等の燃料として使用している。
導入目的・経緯	農業公園内に設置した精製装置で廃食用油をBDF化利用し、環境負担の軽減と資源の有効利用を図る。
設備仕様	100 リットル/日の処理能力
稼働状況	現在は毎月 2 回、同市内の 203 箇所あるリサイクルゴミステーションのほか、同市北勢町、大安町内の小・中学校 11 校と市内の飲食店 20 軒から回収しており、回収量は年間約 24,000 リットルとなっている。
経済性関連データ	三重県の補助事業。生産コスト低減。
導入効果	平成 13 年度は約 10,000 リットル/年の廃食用油回収が、現在は 24,000 リットル/年となっている。環境負荷が軽減されている
運営上の課題	行政主導から地域住人の協理理解を得た事業にして行きたい。
備考・参考資料	NEDO：バイオマスエネルギー導入ガイドブック